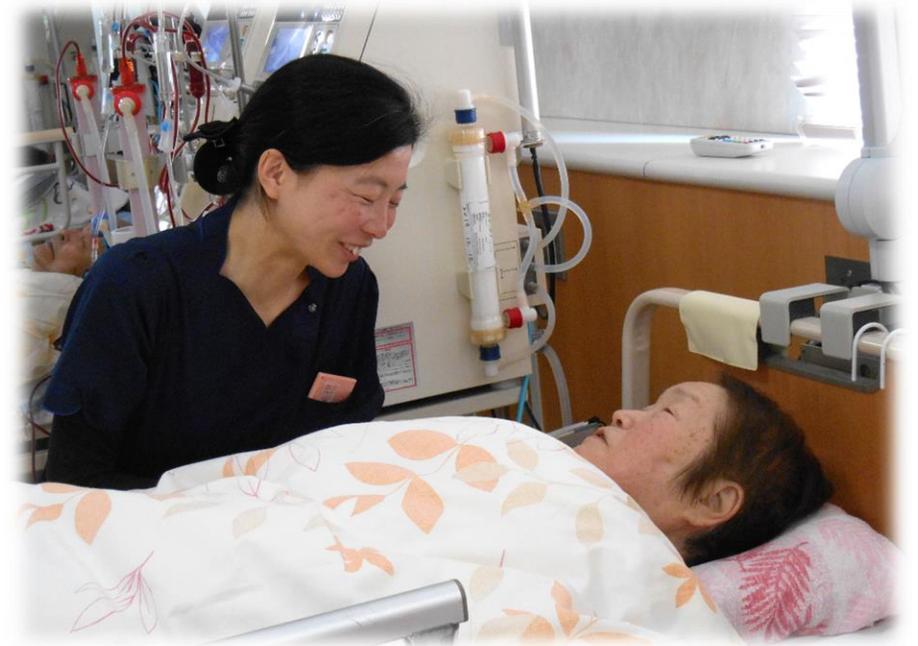


人と人とのつながりを 大切に！



医療法人社団倫生会みどり病院

透析室

透析室のスタッフ

- ・透析室のスタッフは臨床工学技士と看護師の2職種で構成されている

臨床工学技士

看護師

透析中の患者管理

臨床工学技士

- ・患者の検査データから透析方法や
ダイアライザーの選択・管理
- ・透析機器のメンテナンス
- ・院内医療機器のメンテナンスと管理

看護師

- ・透析患者の薬剤管理
- ・透析患者の一般状態管理
- ・処置・検査の介助
- ・地域連携、家族連携

部署のスタッフ

透析スタッフの紹介

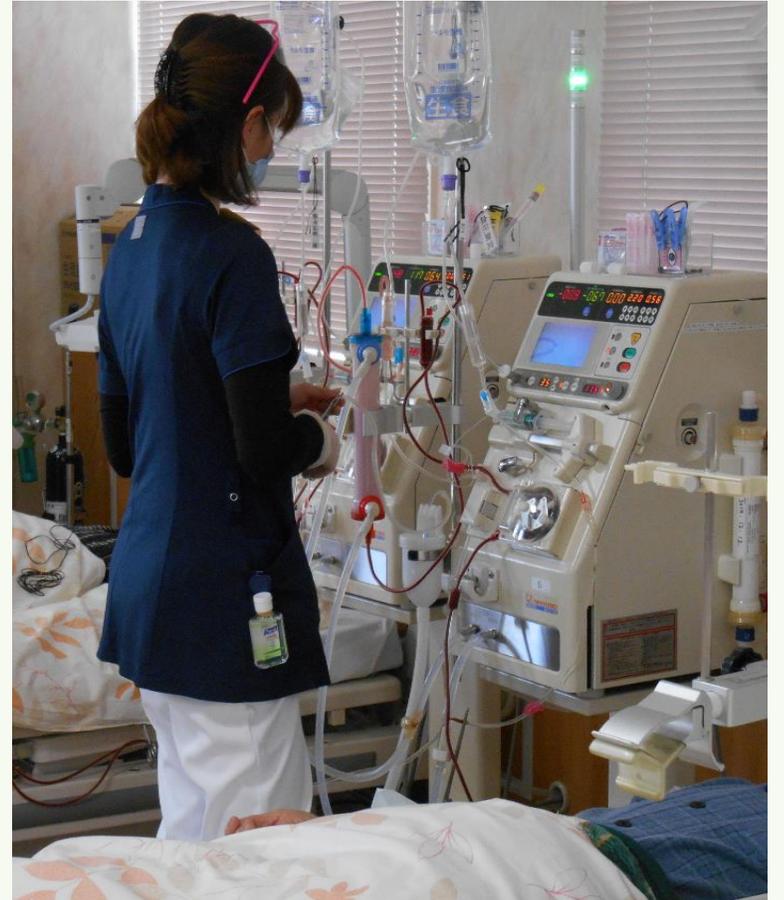
透析医師：2名

(うち非常勤医師1名)

臨床工学技士：7名

看護師：8名

看護助手：1名



透析室の主な仕事



DW管理と患者指導

- 血圧 & BNP & CTR等にてDW評価・体重管理

薬剤管理

- 内服・注射薬全般の管理

シャント管理

- シャント異常の早期発見とAngio & PTAの介助

フットケアの強化

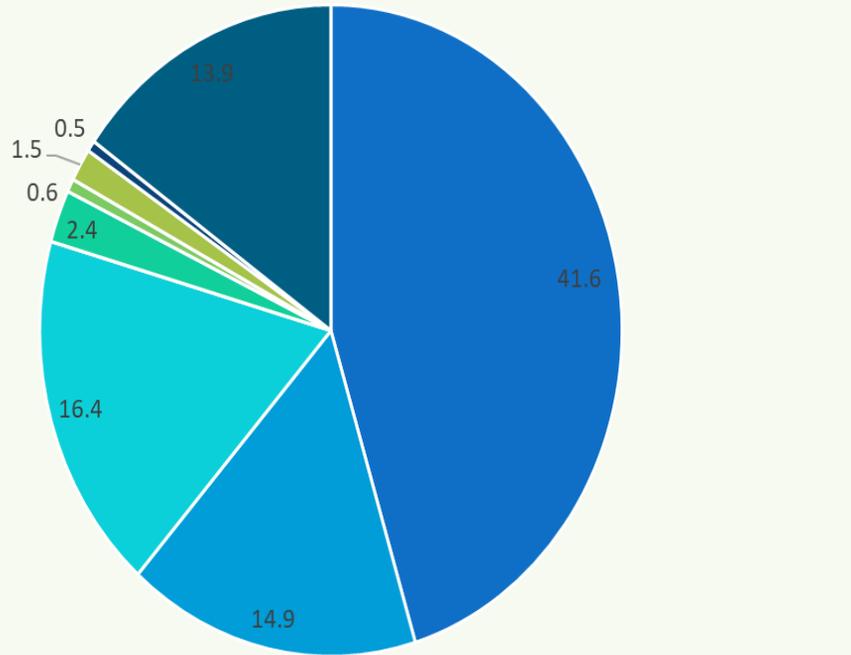
- 触診やドップラーでの下肢血流の評価

患者家族やケアマネとの連携

- 患者の背景・環境・状態を考慮し、患者にとって最適なQOLを目指す

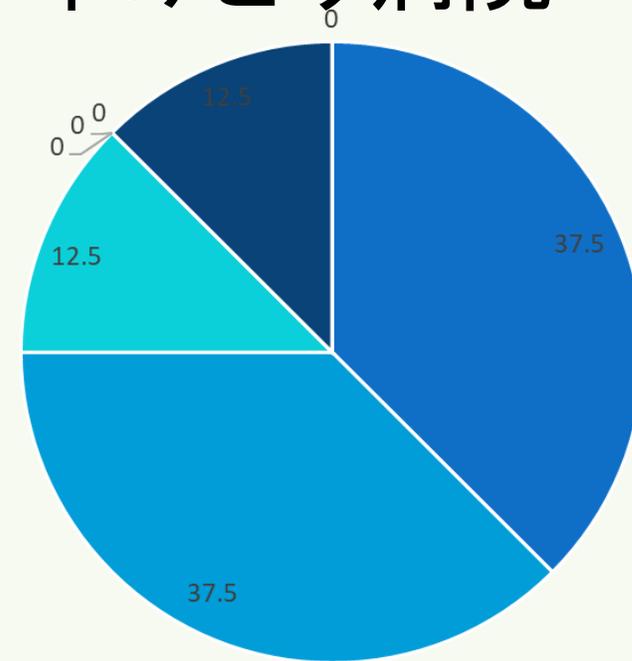
透析患者の原疾患の割合

2019年末全国値(%)



- 糖尿病性腎症
- 慢性系球体腎炎
- 腎硬化症
- 多発性嚢胞腎
- 慢性腎盂腎炎、間質性腎炎
- 急性進行性系球体腎炎
- 自己免疫性疾患に伴う腎炎
- 不明

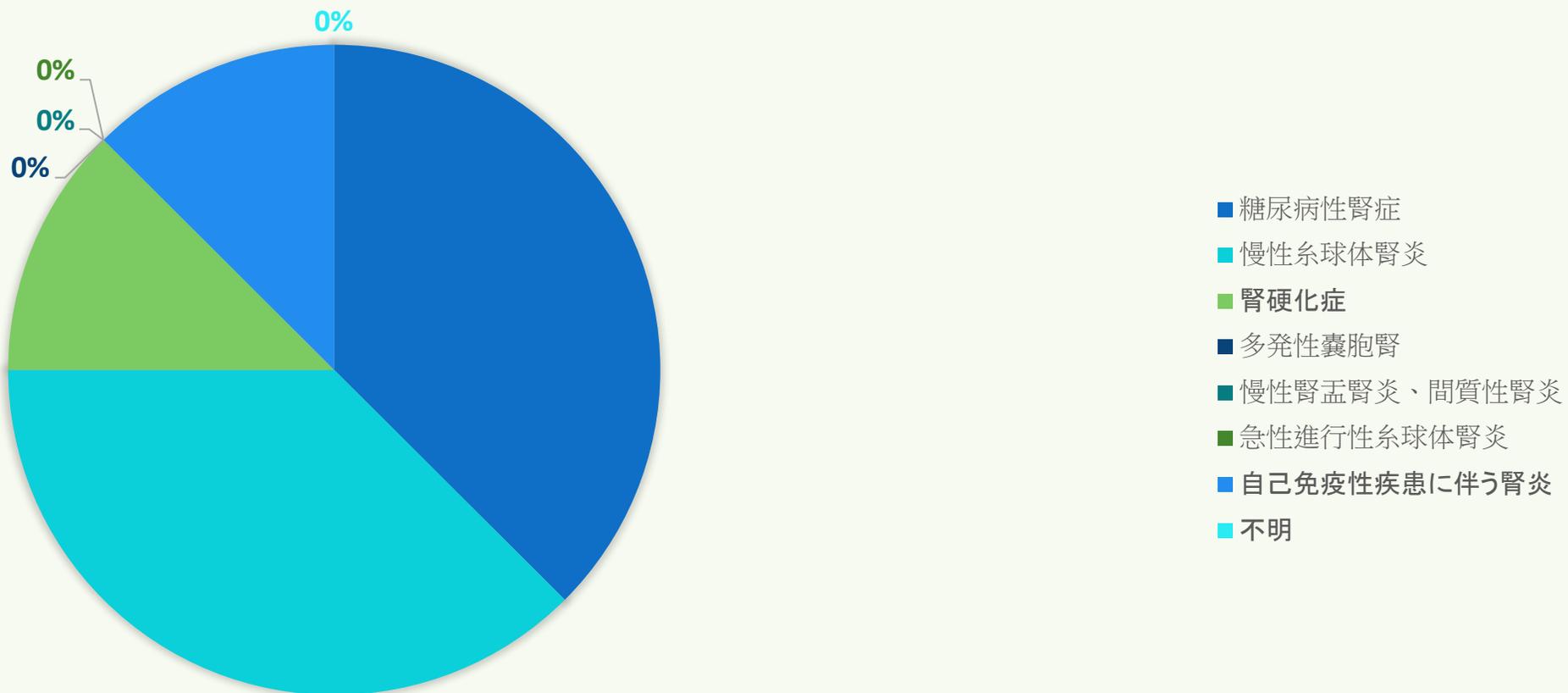
2021年みどり病院



- 糖尿病性腎症
- 慢性系球体腎炎
- 腎硬化症
- 多発性嚢胞腎
- 慢性腎盂腎炎、間質性腎炎
- 急性進行性系球体腎炎
- 自己免疫性疾患に伴う腎炎
- 不明

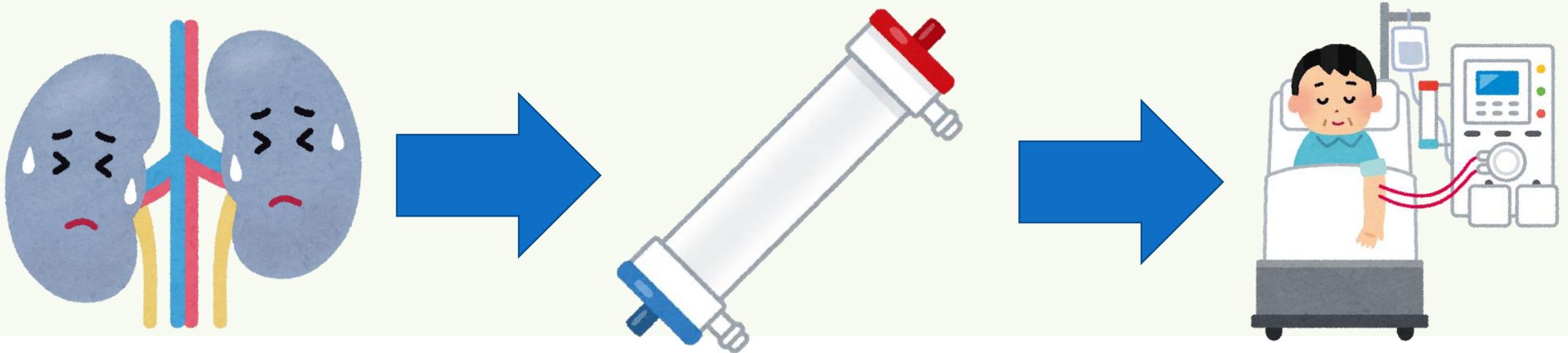
•原疾患別当院導入患者数(人) ～2021年～

原疾患別当院導入患者数(人)



透析とは？

著しく機能が低下した腎臓に変わり、人工腎臓(ダイアライザ)を用いて、血液を濾過する維持療法です！週3回の透析の為、非透析日には水分制限を必要とします。当院では食事について厳しい制限はかけていません。しっかり食べて頂くことは大事なのです。



DW(ドライウェイト)評価

- 心臓の大きさや血圧、BNPなどの血液検査から、その人本来の体重を推定し、その体重を目安として除水します



薬剤管理①

- 定期的に受診し薬の処方を受けていた方は、透析室で薬を管理させていただきます。
- 薬の中には、尿と一緒に排泄される薬があり、尿が出ないことにより、使用する薬の選択が必要となります。
- 薬によっては透析で抜けたり蓄積することもあるため、飲みかたや用量・服用時間に変更がある場合もあります。



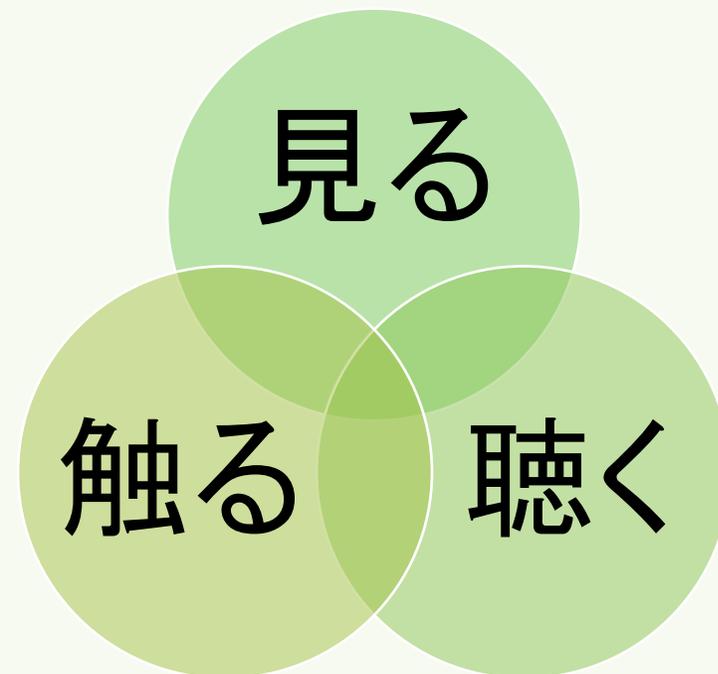
薬剤管理②

- 患者様の状態に合わせて薬を整理し、必要な分だけを処方されることで、薬の量が半減します。
- ほとんどが枝吉調剤薬局での調剤となりますが、透析室内で患者様に合わせた服薬指導が行われます。
- 看護師が立ち会えることで服薬に対する問題点が把握でき、速やかに解決することが出来ます。

シャント管理

体外循環に必要な脱血量を確保するため、血管と血管をつなぎシャントを作ります。シャントを使って透析すると、ベッド上で動くことが出来るため、苦痛が少し減ります。

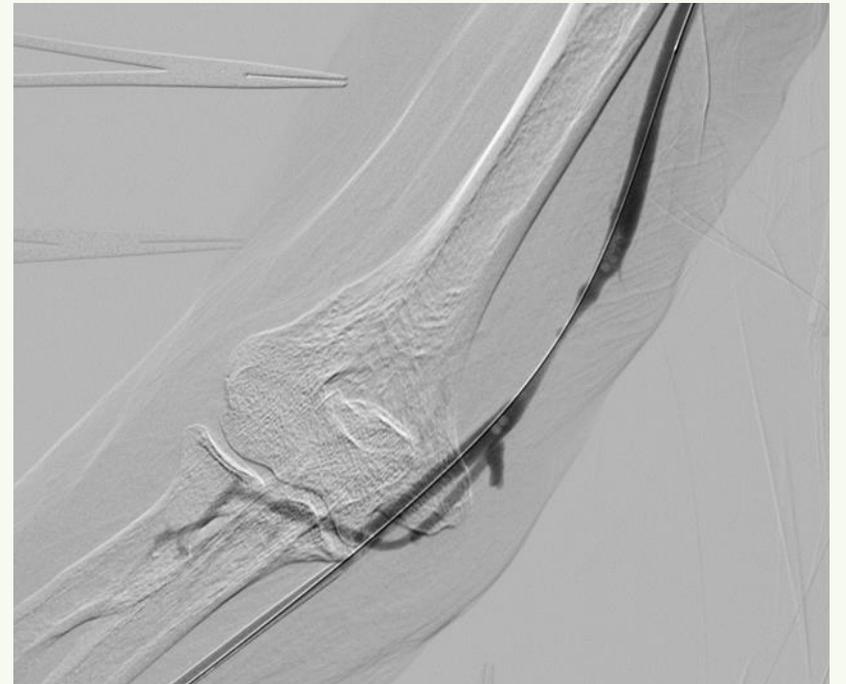
そこで私達は「**命の次に大事なもの**」としてシャントを管理しています



透析開始前にシャント音の確認を行います！
シャントを見て、聴診器で聴いて、シャント血管を触る事により、シャントの状態を把握します。良い血管を維持するために患者教育も欠かしません

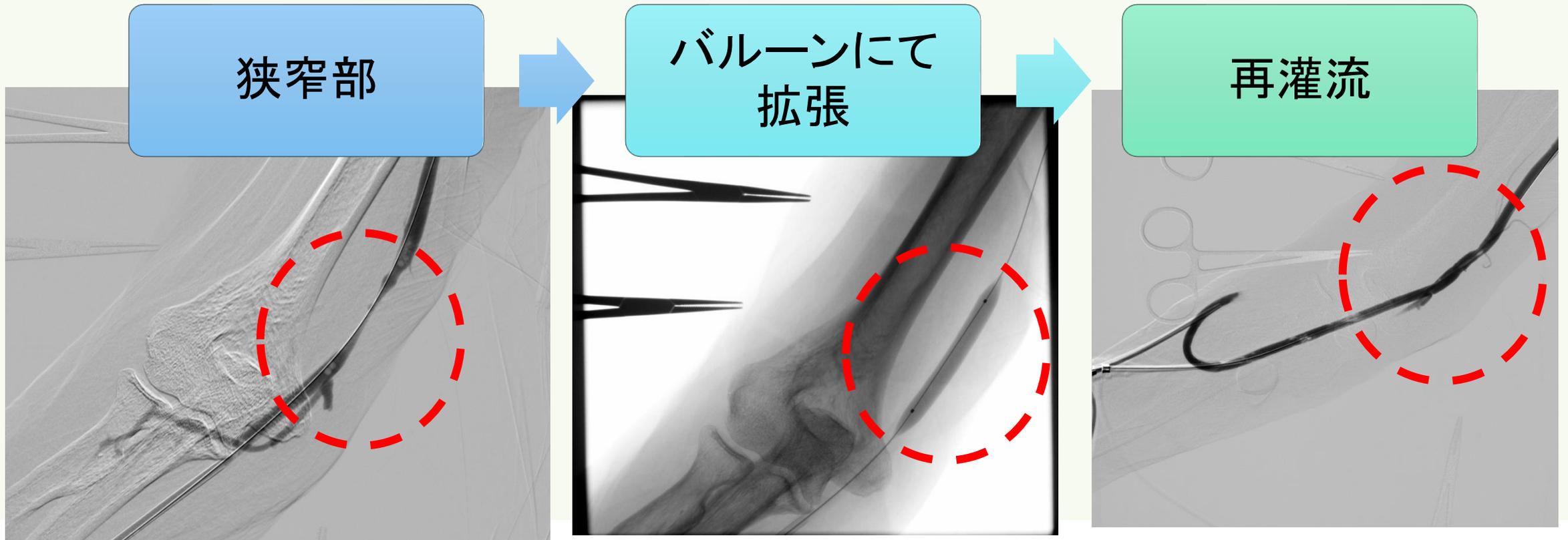
シヤント造影とは？

シヤント造影とは血管内に造影剤を流し、血管の中がどういう風になっているか？ また、血液がどう流れているかを確認する検査です



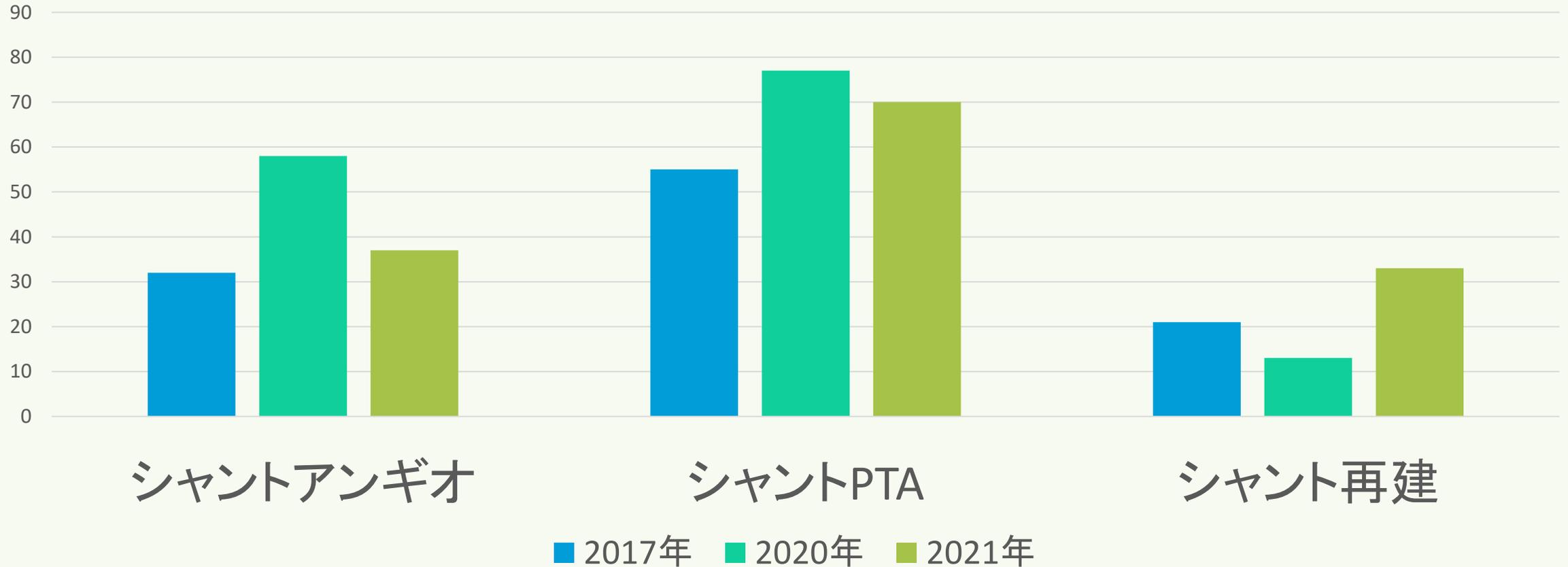
シャントPTAとは？

- シャント造影で確認した狭窄部位にバルーンを通し、バルーンを拡張させ血管内腔を広げる処置です。こうやって血管の修復を行うことで一度作ったシャントを大事に維持していきます。



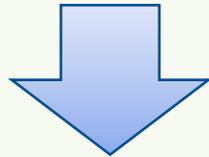
シャント造影・PTA・シャント再建の件数

PTA・シャント再建件数



フットケア

- 動脈硬化や血圧の変化などから透析歴が長くなると足の血管が詰まりやすくなります。足の大きな動脈が閉塞してしまうと、血が通わなくなり壊死してしまいます。そうなる前手の施しようがなく**切断に至ってしまいます**。
- 当院では足の状態を観察し、足のケアや治療をスムーズに行うことで患者様の足を守っています
- 下肢観察項目や日々の患者観察の中から異常発見すると・・・



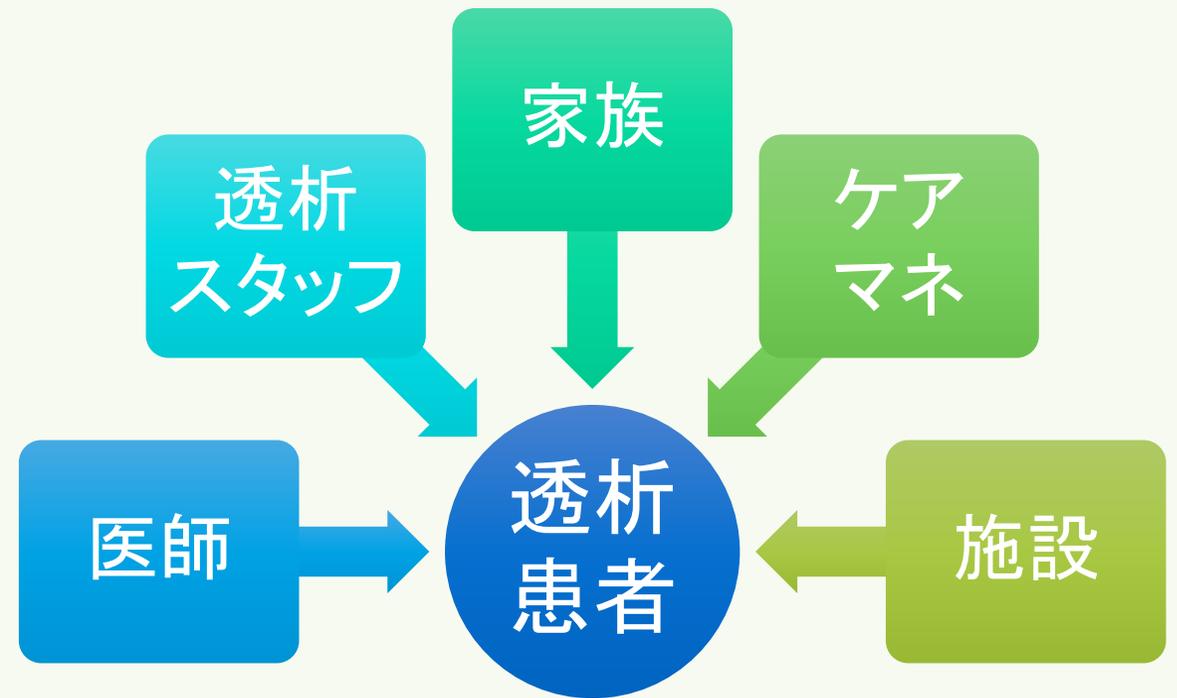
ABIやSPP、下肢動脈エコー、下肢動脈CT等の検査を経て、下肢カテーテル検査及び拡張術が行われます。当院ではこれらの検査がすべて行えるため、スピーディーに治療が出来ます。



月 日				
フォンテイン分類	I	II	III	IV
自覚症状				
右	冷感	なし	あり	
	しびれ	なし	あり	
	疼痛	なし	あり	
他覚症状				
右	冷感	なし	あり	
	傷	なし	あり	
	(部位)			
動脈触知				
右	足背	良好	弱	不良
	後頸骨	良好	弱	不良
	膝窩	良好	弱	不良

患者を中心とした家族やケアマネとの連携

- 透析は週3回約半日を費やします。患者様の生活の一部に組み込まなくてはなりません。そこで、患者様を取り巻く方々と連携して患者様を支えていく必要があるのです。



ワークライフバランス

労働環境

• 勤務時間

透析準備のための早出勤務 7:30～16:00

月～金 日勤 8:30～17:00

遅出 10:00～18:30

土曜 8:30～13:30

日曜 指定休



仕事の流儀

- 私たちは、透析による苦痛をできるだけ軽減させるよう患者指導や患者様を取り巻く方々との連携に力を入れています。患者様からの不安や苦痛を取り除き、通常の日常生活に戻っていただくべくサポートしております。
- とってもアットホームな雰囲気での透析室です。

